



KONICA MINOLTA

HONDA



Racing Specialities



Driver Stand 2りんかん



UNDER ARMOUR
PERFORMANCE APPAREL



The Nutrition Behind Performance™



PINS
FACTORY®

GP CINZANO DI SAN MARINO E RIVIERA DI RIMINI

2007年 MotoGP 世界選手権シリーズ 第13戦

ミサノ(サンマリノ)[9月2日(日) 決勝 天気 晴れ]

#56 中野真矢 [予選14位 決勝10位 総合ランキング16位]

今回は新しいサーキットで、コースを覚えながらの走行だった。

初日は豪雨のため午後の走行がキャンセルになり、2日目から本格的にドライで走り始めた。

練習予選と、トラクション不足に悩みタイムが上げられなかったが、日曜日の朝のセッティングの変更

が良い方向へ進み、決勝中にベストタイムを出すことができた。

後半はラップタイムが落ちてしまったが、何とか10位の順位をキープすることができた。

今回、少しフィーリングが良くなってきたので、次のレースが楽しみだ。



ジャンルカ・モンティロン (コニカミノルタホンダチーム 監督)



上位の3人は、他のライダーとは全く違うリズムで序盤からレースをしていたね。

真矢の直前で起こったクラッシュの後、真矢は少し順位を上げることができたが、その後は思ったほどプッシュができなかったようだ。

真矢のペースは悪くなかったが、まだ少しだけ中段のライダーと差があった。

ポジティブだったのは、チェコから投入されたエンジンとシャーシのセッティングについて、少しずつ良くなってきていることだ。

今日はミシュラン勢の中で3番手であったことから、今日はタイヤのアドバンテージはなかったように思うが、我々は HRC、ミシュランのサポートを信頼しているし、次のレースに向けて集中している。

OfficeFourEight
© shinya56.com